## ＜新型コロナウイルスの各種検査について＞

■ 今、感染しているのかを知るための検査

渡航目的 / 症状は無い / 症状は軽いが心配　　：自費診療
症状があり、医師が必要と判断する場合 (濃厚接触者含む)　　：保険診療

① **PCR 検査**　ウイルス遺伝子の一部を増やすことでウイルスが体内にいるかを判定する検査です。
最も感度が高い方法です。

◆ 唾液 ： プラスチックケースに唾液を 1−2ml とります
飛沫リスク無く、安全に簡単に検体を採取できるメリットがあります。

◆ 鼻咽頭スワブ ： 鼻やのどの奥の粘液を綿棒で擦ります。
飛沫感染リスクがあるため、医師・看護師が感染防護対策の上、行います。
**迅速検査のご希望の方**・唾液採取が難しい方（乳幼児・高齢者など）が対象です。

**1） 迅速（結果：当日）**　自費 25000 円 (院内検査)　　鼻咽頭スワブのみ

全自動遺伝子解析装置 Smart Gene を用い RT-PCR 法で分析します。

**2）通常（結果：翌日）** 自費 20000 円（BML 社委託）唾液 or 鼻咽頭スワブ

Real Time RT-PCR 法での分析です。

**※ 再検査等が必要な場合 1 日程度遅れる場合がございます。**

② **抗原検査（定性）（結果：30 分程度）** 自費 10000 円（院内検査） 鼻咽頭スワブのみ

鼻やのどの奥の粘液を綿棒でこする、インフルエンザ迅速検査と同じ方法です。

当院では、銀増幅イムノクロマト法による検査機器（下写真）を用いて検査を行なっています。フイルム写真の現像で培われた銀の増幅技術を応用して、ウイルス・細菌（抗原）に付いた金コロイドに、銀の微粒子を大量に付着させ、ウイルス・細菌（抗原）をより目立たせる「スピード検査技術」が使われています。PCR に比べて検出感度は劣るものの、有症状の方における PCR 検査との一致率は高い検査です。

## ③ 抗体検査 （2 日程度） :自費　3000 円（検査会社委託）

①ウイルス侵入後の免疫反応によって生成される抗体検査 （N 抗体 ： 自然感染抗体）

Roche 社の試薬を用いて定量的に測定した抗体価を知ることができます。詳細については Roche 社の公式サイトご覧ください。https://diagnostics.roche.com/jp/ja/products/params/elecsys-anti-sars-cov-2.html

②新型コロナウイルスワクチン接種後の抗体（免疫）検査　（S 抗体 ： ワクチン中和抗体）

Abbott 社の試薬を用いて定量的に測定した抗体価を知ることができます。本検査を用いた国内での研究が、本検査の意義のご理解の一助になると思いますのでご参考になさって下さい。⇨ https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/kouhou/press/file/2021/20210616.pdf

※ ①･②のいづれかを選択して頂きます。（①②両方の場合は 6000 円になります）

＜参考資料＞

### 無症状者の唾液を用いたPCR検査等について

○　今般、都内において無症状者を対象に新型コロナウィルスにかかる検査を行ったところ、唾液を用いたPCR検査、LAMP検査及び抗原定量検査と、鼻咽頭ぬぐい液PCR検査を比較し、高い一致率を確認することができた。
○　厚生科学審議会感染症部会において、上記結果をもとに協議を行った結果を踏まえ、無症状者（空港検疫の対象者、濃厚接触者等）に対して唾液を用いたPCR検査、LAMP法検査及び抗原定量検査を活用することを可能とする。

| 検査の対象者 | | PCR検査（LAMP法含む） | | 抗原検査（定量） | | 抗原検査（簡易キット） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 鼻咽頭 | 唾液 | 鼻咽頭 | 唾液 | 鼻咽頭 | 唾液 |
| 有症状者（症状消退者含む） | 発症から９日目以内 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○（※１） | ×（※2） |
| | 発症から１０日目以降 | ○ | × | ○ | × | △（※3） | ×（※2） |
| 無症状者 | | ○ | ×→○（7月17日～） | ○ | ×→○（7月17日～） | ×（※2） | ×（※2） |

※１：抗原検査（簡易キット）については、発症２日目から９日目以内
※２：検査メーカーにおいて有症状唾液については大学と共同研究中、無症状者については共同研究予定。
※３：使用可能だが、陰性の場合は鼻咽頭PCR検査を行う必要あり